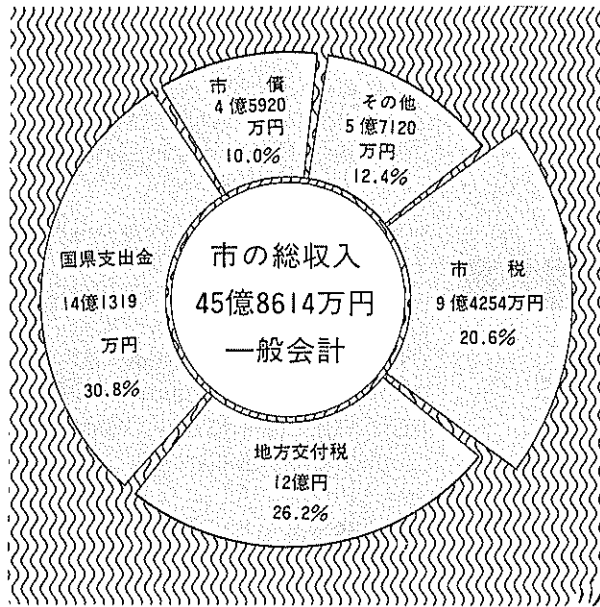


あなたの税金は、こんなに……四十五億八千六百十四万円のゆくえ



●49年度の予算から

一般会計

福祉優先 予算の半分が民生費  
お年寄りのため 2億7526万円

社会福祉

80歳以上に  
老人年金

■市民みんなで子供とおとしよりを大切にしよう……。総予算の半分45.9億、21億533万円が民生費で占められています。  
■まず、おとしよりが安心して暮らせるため、老人ホームへの扶助として土佐清風園53人など特別養護老人ホームへ6363万円、千松園など一般老人ホーム1113万円。  
■ねたきり老人への浴槽2台、湯沸し2台など日常生活用具の扶助に67万円。  
■老人医療費は、75歳以上の人は全員、70歳から75歳までの人は一部、所得の多い人を除き無料で、この費用が1億8000万円。  
■80歳以上のおとしより約800人を対象に老人年金240万円。これは市独自に実施しているもので、1人につき3,000円を支給するもの

です。  
■老人福祉のための補助は、老人クラブに362万円、土佐清風園への利子補給149万円など。  
■このほか、おとしよりのための家庭奉仕員……老人ヘルパーを2

人置いて、おとしよりの家庭を訪問しています。  
■このように、おとしよりのための福祉は、前年度に比べて1億82万円増の2億7526万円に充実されています。

お年寄りと  
子どもを大切に

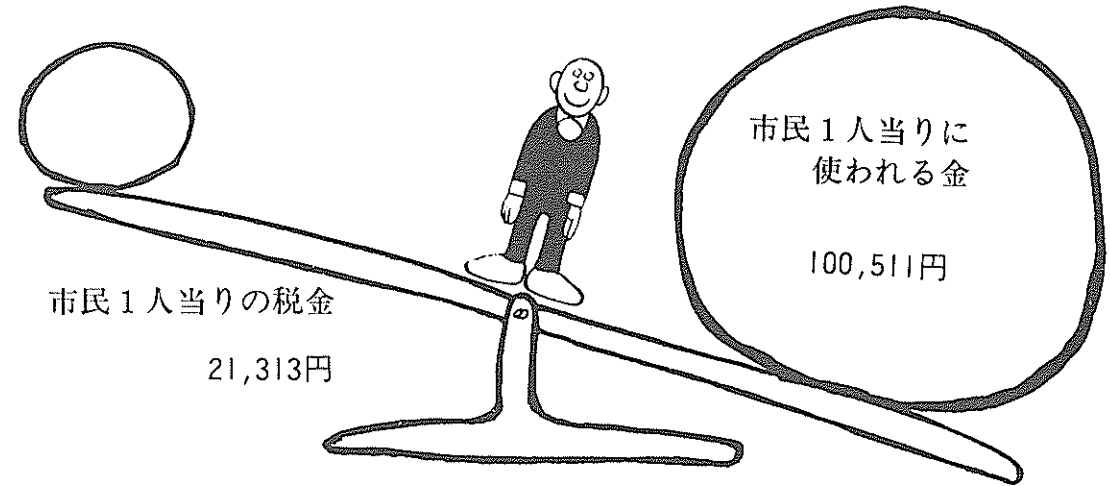


出生児祝金をアップ

国保加入者は別に2万円

■これからの社会をになっていく子どもをすくすくと育てるため、出生児祝金105万円。これは赤ちゃんが生まれたときのお祝い金で全員の人に1,500円が送られます。お祝い金は、いままで1,000円でしたが、ことし4月から500円ア

ップして1,500円にしたものです。また、国民健康保険に入っている人は、別に2万円の助産費がもらえます。同和地区の人には出産の助成金3万円。妊娠4ヵ月以上の死産1万5000円などがあります。これらはことし4月から2万円の



ものを3万円、1万円を1万5000円にアップしたものです。対象者は①政府管掌健康保険の被保険者は2分の1の額②健康保険組合、

各種共済組合の被保険者は対象外  
③市民税の所得割課税世帯は対象になりません。



母子福祉手当を新設

児童1人に12,000円

お年寄りと  
子どもを大切に

■乳児医療は、生まれた月から翌年の生まれ月までの13ヵ月間の医療費を無料にするもので960万円。  
■妊産婦の健康を守り、乳児を健全に育てるため、乳児と妊産婦に毎日1本の牛乳がくばられます。これは生活保護世帯、市民税、所得税の非課税世帯が対象で148万円。  
■赤ちゃんが3人目以上からは、赤ちゃん預金5,000円のほか、児童手当として18歳未満の児童3人以上養っていて、そのうちの1人以上が義務教育終了前の児童であるときは、1人につき月額4,000円、年4万8000円がもらえ、対象者は約450人とみられ、2,160万円

が予算化されました。  
■交通事故で父母または父をなくした児童に児童手当として1人、月額で2,000円、年2万4000円が支給され、これが72万円。  
■また、ことし4月から母子家庭の福祉手当が支給されることになりました。これは、今まで母子家庭のうち、交通遺児のみ手当が支給されていたものを、母子家庭のすべてに支給するもの。対象者は約214人と見込まれ、母子家庭で義務教育終了前の児童1人につき月1000円、年額1万2000円が支給されます。この経費256万円。

予算ということば

わたくしたちの家庭には、生活のための家計があるように、国や地方公共団体（都道府県や市町村）には、予算というものがあります。この予算を中心とした国や地方公共団体の活動を、一般的には「財政」とも呼んでいます。  
公共的な仕事を行うためには、たくさんのお金がかかります。市の場合も、みなさんからの税金が主体となり国からの支出金、使用料や手数料などによって財源を得ています。  
こうして集められたお金を、いろいろと考えながら配分し、各事業を有効的に行っていくためのしくみを予算といっています。  
各家庭の「家計簿」と同じような意味なので、みなさんにとってひじょうに重要なことなのです。

## 社会福祉

### 重度心身障害者の医療費無料化

■社会福祉センター建設の資金借り入れの元金、利子1038万円など社会福祉協議会への補助1225万円  
 ■老人クラブへ362万円など老人福祉の補助として540万円。  
 ■身体障害者のための経費は378万円増の971万円。これは小高坂更生センターなど身体障害者の収容施設委託480万円。月5～6回家庭訪問をする奉仕員を1人配置142万円。更生医療給付100万円補装具の給付180万円、日常生活用具、更生訓練費など38万円。  
 ■重度心身障害者のための経費は486万円。これは、昨年10月から重度の心身障害者の医療費を国に先がけて無料にしたもので、年齢や所得の制限はなく、すべての人が無料です。

対象者は、18歳未満の人であれば▽1級または2級の身体障害者▽知能指数が35以下の重度精神薄弱者▽3級または4級の身体障害者であり、かつ知能指数が36から50以下の中度精神薄弱の人。18歳以上65歳未満の人であれば▽1級の身体障害者あり、そのために常時床についている人▽重度の精神薄弱で、日常生活で常時介護を必要とする人。

このほか、所得税の非課税世帯の人を対象に、障害の程度に応じて寝台、浴槽、便器、時計、テープレコーダーなどの給付や貸与がされる制度があります。

■精神薄弱者のための経費は453万円増の1070万円。

これは、市独自に重度の人のために指導員を5人置くため18万円かがみの育成園など施設への委託のため864万円、家庭奉仕のため136万円など。

■長期入院患者、身体障害者、母

子加算の受給者などの日用品として220万円。

■生活保護は7億95万円で、生活扶助2億231万円、医療扶助4億7730万円、住宅扶助1080万円などとなっています。

■保育所の施設経費は3億7741万円。これは給食費4042万円、補修など諸工事に510万円、遊具など170万円。

■地方改善事業の計画は、大湊浜窪線工事8726万円など国庫補助事業2億1256万円、7区弘石線1582万円など県補助事業6227万円。納骨堂改修360万円など市単独事業1億1718万円。野菜共同出荷場に1200万円、共同豚舎1461万円、前浜榎乾燥調整施設1200万円など。この事業の財源は、国・県の補助2億1264万円、地方債2億1910万円、市の一般財源1152万円です。



■ゴミ袋の無料化は2420万円を予定していましたが、市議会で「市民が10円負担」の修正議決があって1330万円を減額して1090万円。ゴミ収集の委託2164万円、香南清掃組合の負担2500万円などじん荼処理の経費は9740万円。

■し尿処理の経費は1732万円で、し尿処理の委託1000万円など。

■環境衛生のためには596万円。衛生委員をたのむため180万円、河川の監視員を60人置くため18万円、環境衛生のモデル地区を5ヵ所予定して4万円、ハエ撲滅作戦のため薬剤の無償配付などに230万円と専門家への研究委託に14万円。浸水常襲地帯など環境不良地区の防疫に18万円。

四十五億八千六百十四万円のゆくえ

あなたの税金はこんなになりに

●50年度の予算から

## 環境整備

### 河川監視員を60人 環境モデル地区も指定

■保健衛生では、義務教育の児童生徒のツベルクリン、BCGなどの予防接種を無料にするためのワクチン代602万円。レントゲン検診、予防接種などの委託に1393万円。胃検、ガンなどの委託に224万円など伝染病対策に253万円。

■純水製精装置など公害の検査器具58万円、公害分析・水質分析の技術指導員5万円など公害対策に197万円、利水関係の調査50万円交通安全対策は、施設諸工事530万円、交通安全指導員5人のため52万円、通学用ヘルメットの補助は香南中生徒用に15万円などで交通安全のため1003万円。

■市民のいのちと財産を守る消防関係では、防火水槽3基（立田、

浜改田、野中）300万円、サイレン、消火栓新設80万円、屯所修繕など138万円、可搬動力ポンプ（久枝、白木谷、奈路）150万円

ホース、無線機260万円、消防団員の団服（夏服）20万円などで前年度に比べて3905万円増の1億2557万円。

## 産業建設



### 休耕田の復元に着手 農業動向調査も実施

■農業振興では、農業動向調査に92万円、農業大学や農業後継者の研修46万円、みかん園の育成210万円、農業近代化資金929万円、農業機械銀行20万円など2668万円。休耕田を復元するため50万円など米生産調整事業516万円。

■農地費は、稲生の承水溝など土地改良事業8120万円、広域農道の負担900万円、上倉地区農道の負担343万円など7340万円。

■畜産振興は、和牛共進会、畜産関係団体への補助など63万円。

■林業は、林道祇園線開設60万円市有林の保育委託203万円などで866万円。

■水産業の振興は、漁家への小口資金貸付400万円、漁業対策の補助100万円など1343万円。

■商工振興は、商工会への補助に1500万円、貸付金500万円、商工会館の改修100万円、観光の案内板、パンフレット65万円などで2545万円。

## 奈路中谷線

### 王子中央線など

■道路の新設・改良は、奈路中谷線2250万円、前浜岩の自転車歩行者専用道路2100万円、国道小運線の用地3000万円、広域市町村圏の整備事業5000万円、合併関連事業1000万円、王子中央線600万円、用地の購入311万円、県のやる事

業の負担1888万円。

■道路の補修は1241万円。

■橋梁は中島下附線などの床版架

## 教育文化



### 少年補導に専門員 校庭開放も実施

■教育予算は、前年度に比べて66.3%の伸びで5億758万円。

瓶岩地区などの児童のため懸案の久礼田小スクールバス400万円健康診断や検便289万円。要保護準要保護の児童生徒の就学援助として学用品124万円、修学旅行100万円など473万円。日章小学校の改築工事1億754万円。水泳プールの監視員168万円、小学校の理振120万円など教材備品に1092万円、中学校の理振60万円、産振120万円など教材備品740万円、白木谷小へ公社電話10万円、小学校の諸工事に1620万円、中学校の諸工事530万円など小・中学校費として3億595万円。

■幼稚園は、瓶岩運動場の拡張に80万円など1345万円。

■社会教育面では、青年団補助など青年教育54万円、子供の育成

替え100万円、森橋などの新設に200万円など。

■河川は、河川美化対策に500万円、県のやる事業の負担1200万円など1971万円。

■砂防は急傾斜地の防災対策734万円、がけくずれ防災事業のための補償200万円、砂防工事のために3500万円など4446万円。

■都市計画は、高知山田線の負担1480万円、南国山田線990万円、篠原八幡線105万円、高知広域都計などの負担150万円など5152万円。

■災害復旧は、中の谷、上倉線など7件の公共土木施設災害の復旧で2768万円。

34万円、青年学級60万円、明治・大正・昭和3代青年のバス12万円青年の家23万円、成人式36万円、市美術展88万円、家庭教育学級31万円、高令者学級63万円、婦人教育76万円、一般同和教育2095万円子供会の育成53万円、識字学級46万円など。このほか、校庭を開放するため56万円、第4集会所の建設3216万円。

■部落公民館補助124万円など公民館のため1576万円。市史編さんや文化財の保護のため307万円。視聴覚ライブラリー106万円など。

■保健体育は、体育協会補助160万円、体育館改修100万円などで1546万円。

■少年補導センターにことしから専門の補導員をおくことになり、これに72万円。